

発言No.

3

受付No.

5

令和 3年 2月15日

9 時21 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 18 番

氏名 道 下 文 男

答弁を求める者

☐ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 魅力ある浜田市づくりについて

(1) 浜田漁港の活性について

- ① 浜田漁港での昨年度の年間水揚量が1万トンを、金額も40億円を割った。連鎖しての基幹産業である漁業の衰退を大いに懸念するが、市の考えを問う。
- ② 浜田漁港は、多種多様な漁獲物と鮮度が“売り”であり、新規オープンの「はまだお魚市場」盛会へ、これ以上の地元船団の廃業があってはならないと考えるが、市の見解を問う。

(2) 教育環境の充実について

- ① 小学校5・6年生を教科担任制という答申を中央教育審議会がまとめ、よりきめ細かな指導による授業の質向上に期待するが、優秀な教員確保へ、教員のなり手不足も大きな課題であるとする。市の見解を問う。
- ② 島根県においては、働く保護者の利便性向上へ放課後児童クラブを時間延長するという動きがあるが、支援員確保など諸課題の対応について市の考えを問う。
- ③ 昨今の社会情勢の中、通学路の安全対策が進められているが、一方では遠距離通学での対策強化も長年にわたり要望が出ている。市の考えを問う。

(3) 人口減少対策について

- ① コロナ禍などの様々な影響によって、全国では昨年度の自殺者が大幅に増え、特に女性が過去5年で最多となり小中高生も1980年以降最多となった。人口減少が進む浜田市において看過できない問題であり、市の現状を問う。
- ② コロナ禍でのコミュニケーション不足も大きな要因の一つであると言われていたが、対策への考えを問う。
- ③ コロナ禍を逆手にとって、U・Iターン者の受け入れと県外流出の両対策を今こそ強化すべきと考えるが、市の見解を問う。